

2022年12月期 第3四半期決算短信〔SFRS(I)及びIFRS〕(連結)

2022年11月11日

上場会社名 YCPホールディングス(グローバル)リミテッド 上場取引所 東
 コード番号 9257 URL https://www.ycp.com
 代表者 (役職名)取締役兼グループCEO (氏名)石田 裕樹
 問合せ先責任者 (役職名)IRグループ (氏名)中村 哲朗 (TEL) 03-6804-3225
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 有
 四半期決算説明会開催の有無: 有(機関投資家・メディア関係者、個人投資家向け)

1. 2022年12月期第3四半期の連結業績(2022年1月1日～2022年9月30日)

(注) 当社の連結財務書類は米ドルで表示されています。本書において円で表示している金額は、便宜上、2022年9月30日現在の株式会社みずほ銀行の対顧客電信直物売相場場の仲値に基づき1米ドル=144.81円で換算された金額であります。

(1) 連結経営成績(累計) (単位: 千米ドル(百万円)、%表示は対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前 四半期利益		四半期利益		親会社の所有者 に帰属する 四半期利益		四半期包括利益 (損失)合計額	
	金額	%	金額	%	金額	%	金額	%	金額	%	金額	%
2022年12月期 第3四半期	61,561 (8,915)	13.7%	7,136 (1,033)	9.9%	6,914 (1,001)	12.9%	4,892 (708)	19.6%	4,890 (708)	19.9%	△3,906 (△566)	-
2021年12月期 第3四半期	54,151 (7,842)	28.7%	6,493 (940)	13.6%	6,124 (887)	20.6%	4,090 (592)	2.0%	4,079 (591)	1.1%	3,251 (471)	△15.1%

(単位: 米ドル(円))

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
2022年12月期 第3四半期	0.24 (35.47)	0.24 (35.47)
2021年12月期 第3四半期	0.26 (37.19)	0.26 (37.19)

(2) 連結財政状態

(単位: 千米ドル(百万円))

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者帰属 持分比率
2022年12月期 第3四半期	89,516 (12,963)	49,469 (7,163)	49,368 (7,149)	55.2%
2021年12月期	83,849 (12,142)	50,807 (7,357)	50,697 (7,341)	60.5%

2. 配当の状況

(単位: 米ドル(円))

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2021年12月期	-	0.00 (0.00)	-	0.00 (0.00)	0.00 (0.00)
2022年12月期	-	0.00 (0.00)	-		
2022年12月期(予想)				0.00 (0.00)	0.00 (0.00)

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2022年12月期の連結業績予想(2022年1月1日～2022年12月31日)

(単位: 千米ドル(百万円)、%表示は対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり当期 利益(米ドル、円)	
	金額	%	金額	%	金額	%	金額	%	金額	%	金額	%
通期	79,624 (11,530)	8.9%	9,686 (1,403)	23.1%	9,715 (1,328)	28.6%	7,791 (1,407)	56.1%	7,791 (1,128)	56.1%	0.39 (56.44)	25.5%

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

①SFRS (I) 及びIFRSにより要求される会計方針の変更：無

②①以外の会計方針の変更：無

③会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

①期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年12月期 Q3	19,991,076 株	2021年12月期	19,626,676 株
②期末自己株式数	2022年12月期 Q3	- 株	2021年12月期	- 株
③期中平均株式数（四半期累計）	2022年12月期 Q3	19,967,050 株	2021年12月期 Q3 (注)	15,881,276 株

(注) 当社は、2021年4月1日に、当社の親会社であるYCP Holdings Limited（現・Y Asset Management Limited）からその子会社及び関連会社（以下、当社を含めて「当社グループ」といいます。）の株式の現物出資を受ける組織再編を実施したことにより、当社が当社グループの持株会社となりました。実質的に、当社グループは同社及びその子会社の継続会社であるため、株式割当が2020年1月1日に完了したと仮定しています。

※本決算短信は、日本の金融商品取引法に基づく独立監査人による監査手続の対象外です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

当社は、2021年4月1日に、当社の親会社であるYCP Holdings Limited（現・Y Asset Management Limited）からその子会社及び関連会社の株式の現物出資を受ける組織再編を実施したことにより、当社が当社グループの持株会社となり、実質的に、当社グループは同社及びその子会社の継続会社です。同社の連結財務諸表を引き継ぎ、当社は前連結会計年度（2021年1月1日から2021年12月31日まで）の連結財務諸表を作成しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する定性的情報	2
（2）連結財政状態に関する定性的情報	3
（3）キャッシュ・フローの状況	4
（4）連結業績予想に関する定性的情報	4
（5）上場調達資金使途の変更に関するお知らせ	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	6
（1）要約四半期連結損益及び包括利益計算書	6
（2）要約四半期連結財政状態計算書	8
（3）要約四半期連結持分変動計算書	9
（4）要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
（継続企業の前提に関する注記）	11
（セグメント情報）	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当社グループの当第3四半期連結累計期間における経営成績は、売上収益は61,561千米ドル（8,915百万円）と前年同期に比べ7,410千米ドル（1,073百万円、13.7%）の増収となりました。営業利益は7,136千米ドル（1,033百万円）と前年同期比と比べ643千米ドル（93百万円、9.9%）の増益、親会社の所有者に帰属する四半期利益は4,890千米ドル（708百万円）と前年同期と比べ811千米ドル（117百万円、19.9%）の増益となりました。四半期包括利益については、当第3四半期連結累計期間において、日本円が対米ドルで25.9%円安が進み、税引後その他の四半期包括利益で8,798千米ドル（1,274百万円）の損失を計上したことにより、3,906千米ドル（566百万円）の損失となっております。

当第3四半期連結累計期間における報告セグメントごとの業績は、以下のとおりです。

(マネジメントサービス事業)

マネジメントサービス事業は、アジアを中心とする世界15拠点にて、2022年9月30日現在で約250名のプロフェッショナルが、クライアント企業に対してM&AやDX導入をテーマとした現場常駐型（PMO型）の各種経営支援を提供しております。

当事業においては、主要な地域の中で、引き続き米中関係の緊張や新型コロナウイルス感染症対策の影響を受けたグレートチャイナ地域で売上収益が471千米ドル（68百万円、8.8%）の減収、急速な円安の影響を受けて、日本地域で441千米ドル（63百万円、3.0%）の減収となったものの、新型コロナウイルス感染症対策の影響が軽減しつつある東南アジア地域では前年同期比520千米ドル（75百万円、6.9%）の増収、インドや欧州、北米などその他の地域でも増収となっております。その結果、当第3四半期連結累計期間のセグメント売上収益は29,174千米ドル（4,225百万円、前年同期は29,256千米ドル（4,237百万円））（セグメント間収益含む）、セグメント損益は6,720千米ドル（973百万円）の利益（前年同期は8,099千米ドル（1,173百万円）の利益）となりました。

マネジメントサービス事業における、当第3四半期連結累計期間及び前年同期の地域別売上収益の内訳は以下のとおりです。

(地域別売上収益の内訳)	当第3四半期連結累計期間 (2022年1月1日～2022年9月30日)		前第3四半期連結累計期間 (2021年1月1日～2021年9月30日)	
	千米ドル	百万円	千米ドル	百万円
日本	14,098	2,042	14,539	2,105
東南アジア	8,083	1,170	7,563	1,095
グレートチャイナ	4,895	709	5,366	777
インド	403	58	166	24
中東	1,009	146	1,668	242
欧州	631	91	397	57
北米	1,681	243	1,243	180
グループ間取引消去	△2,707	△392	△2,969	△430
合計	28,093	4,068	27,973	4,051

(参考：現地通貨の売上推移)	当第3四半期連結累計期間 (2022年1月1日～2022年9月30日)	前第3四半期連結累計期間 (2021年1月1日～2021年9月30日)
日本（百万円）	1,916	1,682
グレートチャイナ（千人民元）	23,194	36,684

(注) その他の地域については、原則として米ドルで計上しているが、少額のため割愛しております。

(プリンシパル投資事業)

プリンシパル投資事業は、マネジメントサービス事業を通じて培った経営人材のプラットフォームを活用し、中小／新興企業に対して当社グループ自らの資金を投下する他、ゼロから事業立ち上げを伴うインキュベーションにも積極的に取り組んでおります。これまでの投資活動の結果、現在では、パーソナルケア領域及びペットケア領域を重点領域と定め長期的な投資を継続しております。また、将来の重点領域となるべきビジネスシーズに対する投資も、戦略投資領域として積極的に投資を行っております。

パーソナルケア領域は、主要な連結子会社である株式会社SOLIAを通じて、「ALOBABY（アロベビー）」、「HALENA（ハレナ）」、「AMBIQUE（アンビーク）」及び「MELCE（メルス）」などのパーソナルケア商材をアジア全域に展開しております。当領域においては、特に「ALOBABY（アロベビー）」及び「AMBIQUE（アンビーク）」の新規顧客増加や既存顧客のリピー率向上により、円建て決算ベースの売上収益は前年同期比で731百万円の増収となりました。一方で、急激な円安の影響で、米ドル建て決算ベースの売上収益は前年同期比で3,595千米ドル（521百万円）の増収にとどまっております。その結果、当第3四半期連結累計期間のセグメント売上収益は17,595千米ドル（2,548百万円、前年同期は14,000千米ドル（2,027百万円））、セグメント損益は1,566千米ドル（227百万円）の利益（前年同期は791千米ドル（115百万円）の利益）となりました。

ペットケア領域は、主要な連結子会社である株式会社ライフメイト動物病院グループ及び株式会社ライフメイト動物救急センターを通じて、動物病院運営を中心に事業を展開しています。

当領域においては、2022年7月1日、動物向けの高度医療を担う二次診療及び夜間救急診療を実施する株式会社アニマルメディカの動物病院事業を承継したことを受け、円建て決算ベースの売上収益は前年同期比で388百万円の増収となりました。一方で、急激な円安の影響で、米ドル建て決算ベースの売上収益は前年同期比で2,325千米ドル（337百万円）の増収にとどまっております。その結果、当第3四半期連結累計期間のセグメント売上収益は6,958千米ドル（1,008百万円、前年同期は4,633千米ドル（671百万円））、セグメント損益は210千米ドル（30百万円）の利益（前年同期は195千米ドル（28百万円）の利益）となりました。

戦略投資領域は、将来の重点領域となるべきビジネスシーズに対する投資として、主にアジア各国における飲食事業やシニア向けサービスといった事業に投資を行っております。

当領域においては、新型コロナウイルス感染症の影響が軽減した飲食事業の業績が大きく改善したことに加え、2022年9月1日に北海道札幌市で飲食事業を展開する株式会社ARUKIを完全子会社化したことで、売上収益は前年同期比で1,315千米ドル（190百万円）の増収となりました。また、保有するアイペットホールディングス株式会社の株価が堅調に推移したことで、161千米ドル（23百万円）の非資金利益を計上しております。その結果、当第3四半期連結累計期間のセグメント売上収益は9,254千米ドル（1,340百万円、前年同期は7,939千米ドル（1,150百万円））、セグメント損益は1,078千米ドル（156百万円）の利益（前年同期は257千米ドル（37百万円）の利益）となりました。

以上の当社グループの売上収益をまとめると以下のとおりです。

(グループの売上収益の内訳)	当第3四半期連結累計期間 (2022年1月1日～2022年9月30日)		前第3四半期連結累計期間 (2021年1月1日～2021年9月30日)	
	千米ドル	百万円	千米ドル	百万円
マネジメントサービス事業	29,174	4,225	29,256	4,237
プリンシパル投資事業 (内訳)	33,807	4,896	26,572	3,848
パーソナルケア領域	17,595	2,548	14,000	2,027
ペットケア領域	6,958	1,008	4,633	671
戦略投資領域	9,254	1,340	7,939	1,150
グループ間取引消去	△1,420	△206	△1,677	△243
合計	61,561	8,915	54,151	7,842

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は89,516千米ドル（12,963百万円、前連結会計年度末は83,849千米ドル（12,142百万円））となり、前連結会計年度比5,667千米ドル（821百万円）増加となりました。これは主に、ペットケア領域及び戦略投資領域における事業拡大のため実施した事業及び子会社の取得により、のれんが8,963千米ドル（1,298百万円）増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は40,047千米ドル（5,799百万円、前連結会計年度末は33,042千米ドル（4,785

百万円）となり7,005千ドル（1,014百万円）増加となりました。これは主に、ペットケア領域における事業拡大のため実施した事業の取得に係る借入により、非流動負債として計上される有利子負債が6,033千ドル（874百万円）増加したことによるものであります。

（資本）

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は49,469千ドル（7,164百万円、前連結会計年度末は50,807千ドル（7,357百万円））となり、前連結会計年度末比1,338千ドル（194百万円）減少となりました。これは主に、急激な円安の影響を受け、在外営業活動体の換算差額が8,787千ドル（1,272百万円）減少したことによるものであります。

（3）キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末より9,312千ドル（1,348百万円）減少し、29,201千ドル（4,229百万円）となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、6,589千ドル（954百万円、前第3四半期連結累計期間は7,071千ドル（1,024百万円）の増加）となりました。これは主に、マネジメントサービス及びプリンシパル投資事業の営業収入の堅調な推移によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、10,089千ドル（1,461百万円、前第3四半期連結累計期間は1,489千ドル（216百万円）の減少）となりました。これは主に、ペットケア領域及び戦略投資領域における事業拡大のため実施した子会社及び事業の取得による支出9,410千ドル（1,363百万円）によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は、1,414千ドル（205百万円、前第3四半期連結累計期間は5,225千ドル（757百万円）の減少）となりました。これは主に、借入による収入8,592千ドル（1,244百万円）によるものであります。

（4）連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの売上計画はセグメント別（マネジメントサービス事業においては各地域別）に作成した売上収益を合算して算出しております。各セグメントの売上収益は、過年度の実績や当該セグメントの特性及び個別事情等を考慮して、個別に積上げ、計画に反映しております。

マネジメントサービス事業は、引き続き世界的な新型コロナウイルス感染症の発生状況を注視しつつもその影響は軽微になっており、採用活動も順調に進めていることから着実な売上拡大を見込んでおります。また、プリンシパル投資事業においても、重点領域であるパーソナル領域及びペットケア領域における新型コロナウイルス感染症の影響は軽微であり、今後もマーケティング施策の拡大や動物病院のM&Aを通じて着実に売上拡大を図ってまいります。一方で、戦略投資領域におけるアジア各国での飲食事業や日本でのシニア向けサービスについては、新型コロナウイルス感染症の影響が大きいため、慎重な見通しを維持しており、急激な為替変動についても、引き続き注視して参ります。

また、当社グループの事業内容から、グループ全体においてロシア・ウクライナ情勢における影響は軽微と考えております。

なお、2022年11月1日付「Auctus Advisors Private Limited社の株式取得による完全子会社化に関するお知らせ」及び2022年11月11日付「公開買付けへの応募及び「その他の収益及び利得」の計上（見込み）に関するお知らせ」による連結業績予想への影響は現在精査中であり、判明次第すみやかに開示いたします。

（5）上場調達資金使途の変更に関するお知らせ

当社は、2021年12月16日を払込期日とする新規上場にて調達した資金、および2022年1月18日を払込期日とする第三者割当による募集で調達した資金について、マネジメントサービス事業における事業拡大のための投資を目的として、資金

使途計画を変更いたしました。変更内容は以下の通りであります。（変更箇所は__で示しております。）

（変更前）

具体的な資金使途	支払予定時期	金額（米ドル）
パーソナルケア領域での広告宣伝費等	2022年12月期	560百万円（3,867千 米ドル）
	2023年12月期	600百万円（4,143千 米ドル）
ペットケア領域での事業投資	2022年12月期～2023 年12月期	2,000百万円 （13,811千米ドル）
マネジメントサービス事業の採用・教育費用及び人件費	2022年12月期以降	52百万円（359千 ドル）
合計		3,212百万円 （22,181千米ドル）

（変更後）

具体的な資金使途	支払予定時期	金額（米ドル）
パーソナルケア領域での広告宣伝費等	2022年12月期	＝
	2023年12月期	＝
ペットケア領域での事業投資	2022年12月期～2023 年12月期	1,500百万円 （10,358千米ドル）
マネジメントサービス事業での「オークタス」買収資金	2022年11月	1,368百万円（9,447 千米ドル）
マネジメントサービス事業の採用・教育費用及び人件費	2022年12月期以降	344百万円（2,376千 米ドル）
合計		3,212百万円 （22,181千米ドル）

なお調達した資金について、上記の使途のうち、変更後の「ペットケア領域での事業投資」1,500百万円（10,358千米ドル）については、2022年6月に充当した700百万円（4,834千米ドル）を含んでおります。その他の使途についてはいずれも充当しておりません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結損益及び包括利益計算書

	当第3四半期連結累計期間 (2022年1月1日～ 2022年9月30日)		前第3四半期連結累計期間 (2021年1月1日～ 2021年9月30日)	
	千米ドル	百万円	千米ドル	百万円
売上収益	61,561	8,915	54,151	7,842
売上原価	△17,947	△2,599	△14,538	△2,105
売上総利益	43,614	6,316	39,613	5,736
その他の収益及び利得	839	121	544	79
販売費	△9,751	△1,412	△7,884	△1,142
一般管理費	△27,224	△3,942	△25,686	△3,720
その他の営業費用	△342	△50	△94	△14
営業利益	7,136	1,033	6,493	940
金融収益	2	0	2	0
金融費用	△209	△30	△300	△43
持分法による投資損失	△15	△2	△71	△10
税引前四半期利益	6,914	1,001	6,124	887
法人所得税費用	△2,022	△293	△2,034	△295
四半期利益	4,892	708	4,090	592
四半期利益の帰属:				
親会社の所有者	4,890	708	4,079	591
非支配持分	2	0	11	2
親会社の所有者に帰属する1株当たり利益: 基本及び希薄化後(米セント/円)	24.49	35.47	25.68	37.19
その他の包括利益(損失)				
純損益に振り替えられる可能性のある その他の包括利益(損失):				
在外営業活動体の換算差額	△8,737	△1,265	△820	△119
持分法のその他の包括利益	△61	△9	△19	△3
税引後その他の包括利益(損失)	△8,798	△1,274	△839	△121
四半期包括利益(損失)合計	△3,906	△566	3,251	471
四半期包括利益(損失)の帰属:				
親会社の所有者	△3,897	△564	3,244	470
非支配持分	△9	△1	7	1

	当第3四半期連結会計期間 (2022年7月1日～ 2022年9月30日)		前第3四半期連結会計期間 (2021年7月1日～ 2021年9月30日)	
	千米ドル	百万円	千米ドル	百万円
	売上収益	21,860	3,166	18,483
売上原価	△6,257	△906	△4,418	△640
売上総利益	15,603	2,259	14,065	2,037
その他の収益及び利得	1,635	237	117	17
販売費	△3,456	△500	△2,609	△378
一般管理費	△10,637	△1,540	△9,588	△1,388
その他の営業費用	△216	△31	5	1
営業利益	2,929	424	1,990	288
金融収益	-	-	1	0
金融費用	△81	△12	△87	△13
持分法による投資利益	20	3	80	12
税引前四半期利益	2,868	415	1,984	287
法人所得税費用	△570	△83	△694	△100
四半期利益	2,298	333	1,290	187
四半期利益の帰属:				
親会社の所有者	2,297	333	1,282	186
非支配持分	1	0	8	1
親会社の所有者に帰属する1株当たり利益: 基本及び希薄化後(米セント/円)	11.49	16.64	8.07	11.69
その他の包括利益(損失)				
純損益に振り替えられる可能性のある その他の包括利益(損失):				
在外営業活動体の換算差額	△2,201	△319	△184	△27
持分法のその他の包括利益	△16	△2	△5	△1
税引後その他の包括利益(損失)	△2,217	△321	△189	△27
四半期包括利益(損失)合計	81	12	1,101	159
四半期包括利益(損失)の帰属:				
親会社の所有者	86	12	1,093	158
非支配持分	△5	△1	8	1

（2）要約四半期連結財政状態計算書

	当第3四半期連結会計期間 (2022年9月30日)		前連結会計年度 (2021年12月31日)	
	千米ドル	百万円	千米ドル	百万円
非流動資産				
有形固定資産	5,197	753	926	134
使用権資産	6,239	903	4,019	582
のれん	22,650	3,280	13,687	1,982
無形資産	1,548	224	1,603	232
関連会社に対する投資	-	-	304	44
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産	7,831	1,134	8,858	1,283
前払金、敷金及び保証金並びにその他の債権	1,701	246	871	126
繰延税金資産	1,040	151	1,339	194
非流動資産合計	46,206	6,691	31,607	4,577
流動資産				
棚卸資産	3,054	442	2,539	368
営業債権	7,290	1,056	7,786	1,127
契約資産	1,457	211	942	136
その他の流動資産	2,308	334	2,314	335
現金及び預金	29,201	4,229	38,661	5,598
流動資産合計	43,310	6,272	52,242	7,565
流動負債				
営業債務	3,343	484	2,533	367
営業債務以外の短期債務	10,197	1,477	11,256	1,630
有利子負債	4,855	703	5,494	796
リース負債	2,155	312	2,271	329
未払法人所得税	1,139	165	1,561	226
流動負債合計	21,689	3,141	23,115	3,347
正味流動資産	21,621	3,131	29,127	4,218
正味流動資産及び非流動資産合計	67,827	9,822	60,734	8,795
非流動負債				
営業債務以外の長期債務	610	88	545	79
有利子負債	13,134	1,902	7,101	1,028
リース負債	4,187	606	1,927	279
繰延税金負債	300	43	229	33
退職給付に係る負債	127	18	125	18
非流動負債合計	18,358	2,658	9,927	1,438
純資産	49,469	7,164	50,807	7,357
資本				
親会社の所有者に帰属する持分				
資本金	35,423	5,130	32,993	4,778
剰余金	13,945	2,019	17,704	2,564
	49,368	7,149	50,697	7,341
非支配持分	101	15	110	16
資本合計	49,469	7,164	50,807	7,357

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(2021年1月1日～2021年9月30日)

単位：千米ドル（百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分							非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	在外営業 活動体の 換算差額	利益 剰余金	新株 予約権	退職給付 制度の 再測定額	合計		
2021年1月1日残高	-	5,169	368	15,576	-	△5	21,108	75	21,183
	-	(749)	(53)	(2,256)	-	(△1)	(3,057)	(11)	(3,068)
四半期利益	-	-	-	4,079	-	-	4,079	11	4,090
	-	-	-	(591)	-	-	(591)	(2)	(592)
その他の包括利益 (△は損失)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
在外営業活動体の 換算差額	-	-	△816	-	-	-	△816	△4	△820
持分法のその他の 包括損失	-	-	(△118)	-	-	-	(△118)	(△1)	(△119)
	-	-	△19	-	-	-	△19	-	△19
	-	-	(△3)	-	-	-	(△3)	-	(△3)
四半期包括利益(損失)合計	-	-	△835	4,079	-	-	3,244	7	3,251
	-	-	(△121)	(591)	-	-	(470)	(1)	(471)
新株の発行	0	-	-	-	-	-	0	-	0
	(0)	-	-	-	-	-	(0)	-	(0)
共通支配下における再編に伴う 新株の発行	7,141	△7,141	-	-	-	-	-	-	-
株式報酬費用	(1,034)	(△1,034)	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	40	-	40	-	40
	-	-	-	-	(6)	-	(6)	-	(6)
2021年9月30日残高	7141	△1,972	△467	19,655	40	△5	24,392	82	24,474
	(1,034)	(△286)	(△68)	(2,846)	(6)	(△1)	(3,532)	(12)	(3,544)

当第3四半期連結累計期間(2022年1月1日～2022年9月30日)

単位：千米ドル（百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分							非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	在外営業 活動体の 換算差額	利益 剰余金	新株 予約権	退職給付 制度の 再測定額	合計		
2022年1月1日残高	32,993	△1,972	△963	20,527	123	△11	50,697	110	50,807
	(4,778)	(△286)	(△139)	(2,973)	(18)	(△2)	(7,341)	(16)	(7,357)
四半期利益	-	-	-	4,890	-	-	4,890	2	4,892
	-	-	-	(708)	-	-	(708)	(0)	(708)
その他の包括利益 (△は損失)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
在外営業活動体の 換算差額	-	-	△8,726	-	-	-	△8,726	△11	△8,737
持分法のその他の 包括損失	-	-	(△1,264)	-	-	-	(△1,264)	(△2)	(△1,265)
	-	-	△61	-	-	-	△61	-	△61
	-	-	(△9)	-	-	-	(△9)	-	(△9)
四半期包括利益(損失)合計	-	-	△8,787	4,890	-	-	△3,897	△9	△3,906
	-	-	(△1,272)	(708)	-	-	(△564)	(△1)	(△566)
新株の発行	2,641	-	-	-	-	-	2,641	-	2,641
	(382)	-	-	-	-	-	(382)	-	(382)
株式発行費用	△211	-	-	-	-	-	△211	-	△211
	(△31)	-	-	-	-	-	(△31)	-	(△31)
株式報酬費用	-	-	-	-	138	-	138	-	138
	-	-	-	-	(20)	-	(20)	-	(20)
2022年9月30日残高	35,423	△1,972	△9,750	25,417	261	△11	49,368	101	49,469
	(5,130)	(△286)	(△1,412)	(3,681)	(38)	(△2)	(7,149)	(15)	(7,164)

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	当第3四半期連結累計期間 (2022年1月1日～ 2022年9月30日)		前第3四半期連結累計期間 (2021年1月1日～ 2021年9月30日)	
	千米ドル	百万円	千米ドル	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー				
税引前四半期利益	6,914	1,001	6,124	887
営業活動による キャッシュ・フローへの調整:				
金融収益	△2	△0	△2	△0
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産 の評価益	△161	△23	△293	△42
新型コロナウイルス感染症に関連した 賃料減免	-	-	△57	△8
減価償却費（有形固定資産）	639	93	545	79
減価償却費（使用権資産）	2,336	338	2,822	409
その他の償却費（無形資産）	205	30	216	31
棚卸資産廃棄損	24	3	13	2
有形固定資産除却損	2	0	-	-
有形固定資産売却損	-	-	3	0
リース資産売却益	△1	△0	△7	△1
貸倒損失・引当金等（△は戻入）	6	1	△2	△0
金融費用	209	30	300	43
持分法による投資損失	15	2	71	10
退職給付に係る費用	11	2	-	-
株式報酬費用	138	20	40	6
持分変動によるみなし売却益	△463	△67	-	-
運転資本の変動前の営業キャッシュ・インフロー	9,872	1,430	9,773	1,415
運転資本の変動:				
前払金、敷金及び保証金並びに その他の債権の減少額	210	30	188	27
契約資産の増加額	△542	△78	△605	△88
棚卸資産の増加額	△544	△79	△868	△126
営業債権の増減額（△は増加）	282	41	△347	△50
営業債務の増減額（△は減少）	△236	△34	703	102
営業債務以外の債務の増減額（△は減少）	△346	△50	508	74
小計	8,696	1,259	9,352	1,354
法人所得税の支払額	△2,107	△305	△2,281	△330
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,589	954	7,071	1,024
投資活動によるキャッシュ・フロー				
利息の受取額	2	0	2	0
有形固定資産の取得による支出	△134	△19	△102	△15
無形資産の取得による支出	-	-	△274	△40
子会社及び事業の取得による支出	△9,410	△1,363	△1,115	△161
純損益を通じて公正価値で測定する 株式の取得による支出	△691	△100	-	-
担保に提供されている定期預金の減少	144	21	-	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,089	△1,461	△1,489	△216
財務活動によるキャッシュ・フロー				
株式の発行による払込	2,641	382	0	0
株式発行費用の支出	△211	△31	-	-
借入による収入	8,592	1,244	2,282	330
借入金の返済による支出	△7,267	△1,052	△4,694	△680
リース負債の返済による支出	△2,132	△309	△2,513	△364
利息の支払額（リース負債）	△69	△10	△83	△12
利息の支払額	△140	△20	△217	△31
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,414	205	△5,225	△757
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△2,086	△302	357	52
現金及び現金同等物の期首残高	38,513	5,577	9,763	1,414
現金及び現金同等物の為替変動による影響	△7,226	△1,046	△591	△86
現金及び現金同等物の四半期末残高	29,201	4,229	9,529	1,380

現金及び現金同等物の内訳：

現金及び預金	29,201	4,229	9,529	1,380
--------	--------	-------	-------	-------

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、最高経営意思決定機関であるグループ取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、クライアント企業に対してM&AやDX導入をテーマとした現場常駐型（PMO型）の各種経営支援を提供する「マネジメントサービス」と、中小・振興企業に対するリスクマネーの提供やゼロベースから事業をインキュベーションする「プリンシパル投資」の2事業を展開しております。さらに「プリンシパル投資」においては、「パーソナルケア領域」及び「ペットケア領域」を重点領域と定め長期的な投資を継続している他、将来の重点領域となるべきビジネスシーズに対する投資も「戦略投資領域」として積極的に投資を行っております。

従って、当社グループは、「マネジメントサービス事業」「パーソナルケア領域」「ペットケア領域」「戦略投資領域」の4つの事業もしくは領域を報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(2022年1月1日～2022年9月30日)

(単位：千米ドル(百万円))

	報告セグメント				合計
	マネジメント サービス	パーソナル ケア	ペットケア	戦略投資	
外部収益	28,093 (4,068)	17,545 (2,541)	6,958 (1,008)	8,965 (1,298)	61,561 (8,915)
セグメント間収益	1,081 (157)	50 (7)	- -	289 (42)	1,420 (206)
計	29,174 (4,225)	17,595 (2,548)	6,958 (1,008)	9,254 (1,340)	62,981 (9,120)
セグメント間収益の相殺					△1,420 (△206)
収益合計					61,561 (8,915)
非資金取引前セグメント損益	8,118 (1,176)	1,652 (239)	813 (118)	1,727 (250)	12,310 (1,783)
非資金取引					
貸倒損失・引当金等	-	-	△6 (△1)	-	△6 (△1)
棚卸資産廃棄損	-	△24 (△3)	-	-	△24 (△3)
有形固定資産除却損	-	-	-	△2 (△0)	△2 (△0)
減価償却費	△1,110 (△161)	△51 (△7)	△553 (△80)	△1,261 (△183)	△2,975 (△431)
その他の償却費	△140 (△20)	△11 (△2)	△44 (△6)	△10 (△1)	△205 (△30)
純損益を通じて公正価値で測定 する金融資産の評価益	-	-	-	161 (23)	161 (23)
リース資産売却益	1 (0)	-	-	-	1 (0)
退職給付に係る費用	△11 (△2)	-	-	-	△11 (△2)
持分変動によるみなし売却益	-	-	-	463 (67)	463 (67)
株式報酬費用	△138 (△20)	-	-	-	△138 (△20)
セグメント損益	6,720 (973)	1,566 (227)	210 (30)	1,078 (156)	9,574 (1,386)
配賦不能親会社管理部門費用					△2,438 (△353)
営業利益					7,136 (1,033)
金融収益					2 (0)
金融費用					△209 (△30)
持分法による投資損失					△15 (△2)
税引前利益					6,914 (1,001)

前第3四半期連結累計期間(2021年1月1日～2021年9月30日)

(単位：千米ドル(百万円))

	報告セグメント				合計
	マネジメント サービス	パーソナル ケア	ペットケア	戦略投資	
外部収益	27,973 (4,051)	13,940 (2,019)	4,633 (671)	7,605 (1,101)	54,151 (7,842)
セグメント間収益	1,283 (186)	60 (9)	- -	334 (48)	1,677 (243)
計	29,256 (4,237)	14,000 (2,027)	4,633 (671)	7,939 (1,150)	55,828 (8,084)
セグメント間収益の相殺					△1,677 (△243)
収益合計					54,151 (7,842)
非資金取引前セグメント損益	9,972 (1,444)	871 (126)	507 (73)	1,329 (192)	12,679 (1,836)
非資金取引					
貸倒引当金戻入額	-	-	2 (0)	-	2 (0)
棚卸資産廃棄損	-	△13 (△2)	-	-	△13 (△2)
減価償却費	△1,703 (△247)	△47 (△7)	△277 (△40)	△1,340 (△194)	△3,367 (△488)
その他の償却費	△139 (△20)	△20 (△3)	△37 (△5)	△20 (△3)	△216 (△31)
有形固定資産除売却損	△1 (△0)	-	-	△2 (△0)	△3 (△0)
純損益を通じて公正価値で測定 する金融資産の評価益	-	-	-	293 (42)	293 (42)
リース資産売却損益(△は損 失)	10 (1)	0 (0)	-	△3 (△0)	7 (1)
株式報酬費用	△40 (△6)	-	-	-	△40 (△6)
セグメント損益	8,099 (1,173)	791 (115)	195 (28)	257 (37)	9,342 (1,353)
配賦不能親会社管理部門費用					△2,849 (△413)
営業利益					6,493 (940)
金融収益					2 (0)
金融費用					△300 (△43)
持分法による投資損失					△71 (△10)
税引前利益					6,124 (887)